

「いじめ」シンポ報告集が完成 ご希望の方は市議団まで

今年3月、共産党名古屋市議団が開催した、教育評論家の尾木直樹さんを迎えたシンポジウムの報告集が完成しました。

尾木直樹さんの基調講演、パネラーと会場からの切実な発言、60近く寄せられたアンケートに加え、豊富な資料も掲載。いじめの問題に心を痛める多くの方にぜひ読んでいただきたい報告集です。A4判72ページ、ご希望の方には無料でお渡しします。市議団またはお近くの地区委員会までご連絡ください。

お寄せいただいたアンケートから

- ・尾木直樹さんがこの間の全国的な「いじめ」問題を丁寧にまとめられ理解できました。「いじめ」「自死」が頻発する日本、このままでは日本はダメになる…危機感を持ち…同時に希望も展望もあることも。
- ・尾木ママの話は楽しく具体的でとっても役に立ちます。できることから実行していきたい
- ・少人数学級をもっと早く作り、正規の先生をたくさん作るべきだ。



名古屋での「いじめ」 政治も解答を 一名古屋市も9月報告書を公表

昨年11月、名古屋市中区で中学1年生が「いじめ」を疑われるメモを残し自ら命を絶ちました。3年前にも南区で中学2年生が「いじめ」を苦に転落死しています。なぜ「いじめ」がここまで深刻になったのか。どうやって「いじめ」を解決するのか。政治にも解答が求められています。

共産党名古屋市議団は上記「いじめ」シンポ報告集で、名古屋の「いじめ」の解決策を市民と検討しています。また日本共産党は「『いじめ』のない学校と社会を」で、解決策を提案しています。

一方名古屋市も、昨年11月の自殺事件について、有識者会議の報告書を今年9月に公表する見通しです。

学校対応の問題点指摘へ 中1自殺名古屋市有識者会議が報告書案

いじめ、認定は三つ

名古屋市の市立中学一年の男子生徒(当時12)が昨年11月に自殺した問題で、有識者による検討会議が25日、報告書をまとめた。約9カ月間、生徒を追い詰めた背景や、学校などの対応について検証し、9月にも公表される見通しだ。

「学校や部活でいじめが多かった。部活では多量にいじめられていた。いじめを認められなかった。いじめを認められなかった。いじめを認められなかった。」

■男子生徒の自殺をめぐる主な経緯

2015年4月	中学入学、卓球部入部。出身小学校から「学習面、生活面、健康面で配慮を要する」と引き継ぎ
6月	心理テストで「学校生活に満足できない。いじめに近い距離があまりない」との結果
7月	卓球部で担任教師が保護者に、どう接すればいいかと相談
10月	卓球部の同級生に「部活でいじめられたためか、部活だよね。もうやめよう」と煽られる
11月1日	午後3時過ぎ、地下鉄駅構内で電車に飛び込む

所属していた卓球部で繰り返して「弱い」と言われた。体形の悪口を言われたこと。同級生に弁当のおかずを食わされたこと。ただ、これらが自殺の直接的な原因ではない。検査で認められたのは、いじめ、いじめ、いじめの三つ。いじめを認められなかったこと。いじめを認められなかったこと。いじめを認められなかったこと。

名古屋市の市立中学一年の男子生徒(当時12)が昨年11月に自殺した問題で、有識者による検討会議が25日、報告書をまとめた。約9カ月間、生徒を追い詰めた背景や、学校などの対応について検証し、9月にも公表される見通しだ。

名古屋市の市立中学一年の男子生徒(当時12)が昨年11月に自殺した問題で、有識者による検討会議が25日、報告書をまとめた。約9カ月間、生徒を追い詰めた背景や、学校などの対応について検証し、9月にも公表される見通しだ。